

第2部 特別支援教育に係る研修会

特別な支援が必要な児童生徒の可能性を 最大限に伸ばすための指導・支援の在り方

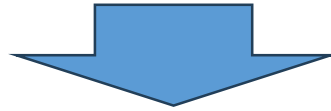


このマークがついているスライドは
配布していません

教育庁筑豊教育事務所
教育相談室 安陪 知

本日のゴール

児童生徒理解を深め、支援方法を見つけたいと思っています。



☆発達障がいとは何かが分かる

☆自分ができる支援方法を考える



本日の内容

- 1 特別支援教育の動向
- 2 発達障がいとは
- 3 特性に応じた支援例
- 4 最後に



Ⅰ 特別支援教育の動向

メモとしてご活用ください

Ⅰ 特別支援教育の動向

この数値は何を表しているのでしょうか…

8.8%

学習面又は行動面で、著しい困難を示す児童生徒の割合

【「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」(文科省・令和4年12月)】

I 特別支援教育の動向

検討においてどのような前提があるか

子供一人ひとりに目を向けた時に見えてきた課題

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の必要性

「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

-小学校35人学級における子供の多様性*-

*各種調査に基づく出現率から算出



学習指導要領の 理念や趣旨の浸透が道半ば

子供の社会参画
の意識



知識と現実の事象
を関連付けて理解



将来の夢を持つ
子供の割合



深い理解を伴う
知識の習得



自律的に学ぶ
自信



「自分の考え」を
書くこと



デジタルを活用した効果的な学びについて

「デジタルか紙か」と
いった二項対立



効果的な活用はま
だまだこれから



デジタル競争力は
国際比較でも低位



バランス感覚を持って、積
極的に活用する



一人一人の良さを
伸ばし、困難の克
服を助ける



デジタルの力で
リアルな学びを支える



本日の内容

- 2 発達障がいとは
- 3 特性に応じた支援例
- 4 最後に

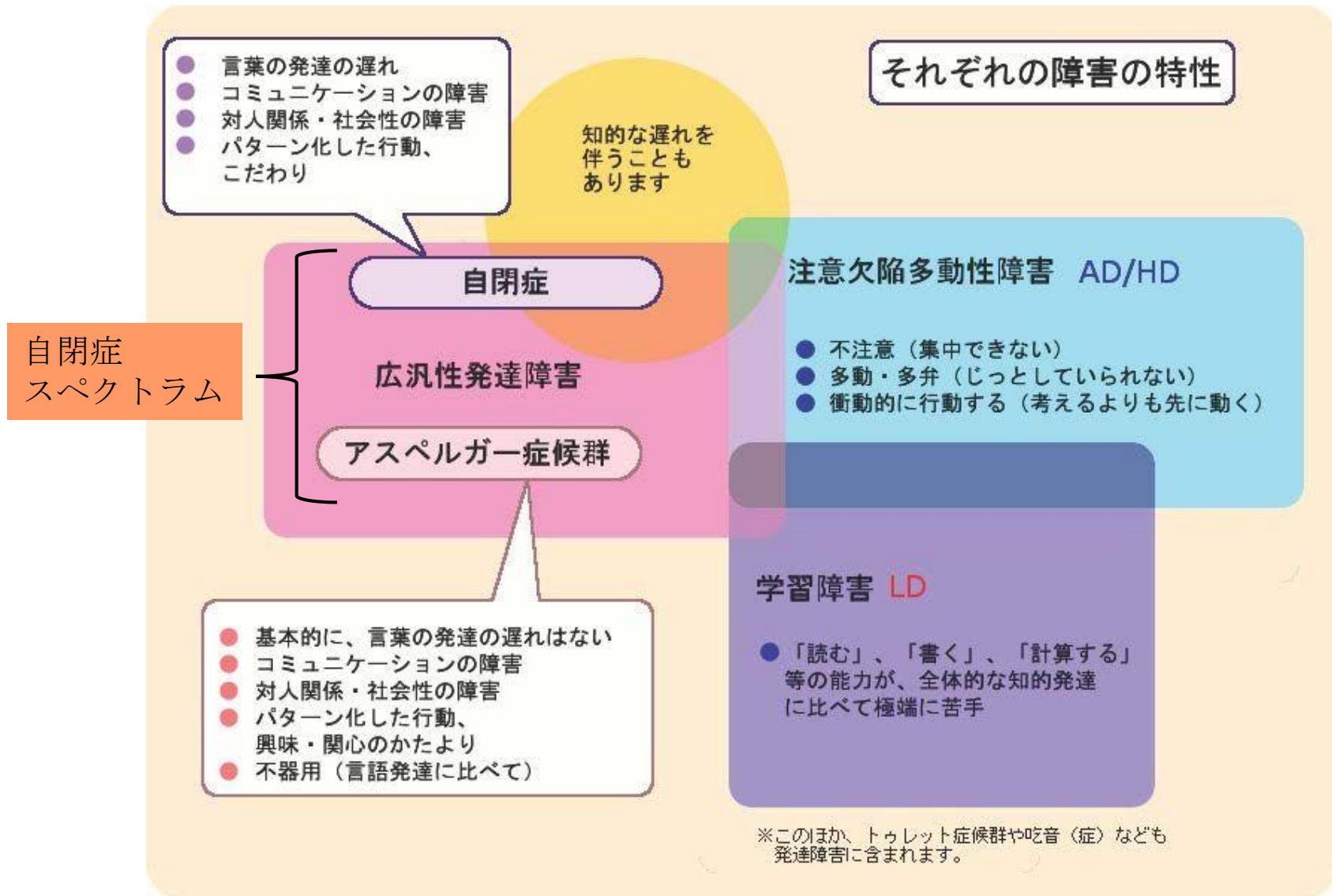


2 発達障がいとは

【はじめに】

発達障がいとはどんな障がいのことですか？
障がい名や特性を書いてみましょう。

2 発達障がいとは



2 発達障がいとは

「発達障がい」でも、
自閉症・ADHD・LD等によって、
特性が大きく異なる。
その特性に応じた支援を
行うことが大切。

**先天性のもので、育て方や家庭環境、
本人のなまけによるものではない**

2 発達障がいとは

困っているのは子供たち

「ちょっと手助けがあればできるのに・・・」



「なぜできないのか」

そして

「どうすればできるか」へ

できる（力を発揮する）状況づくり

本日の内容

3 特性に応じた支援例

4 最後に



3 特性に応じた支援例

～支援を行う上で大切なこと～



頭ごなしに怒らない
「どうしたん？」



事実だけで捉えない、**真実**を考える
「なんでかな？」



スモールステップでの成長を**称賛**
「ここまで、できたね」

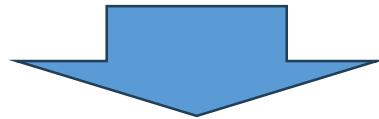
3 特性に応じた支援例



事実だけで捉えない、**真実**を考える
「**なんでかな?**」

事実：一斉指示だけでは行動に移せない。

真実：



できる支援

3 特性に応じた支援例



事実だけで捉えない、**真実**を考える
「**なんでかな?**」

事実：必要なものをなくす、
持ち物の整理整頓が難しい。

真実：

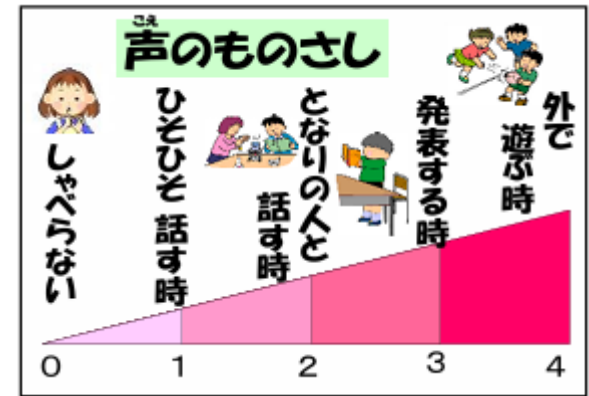


できる支援

3 特性に応じた支援例



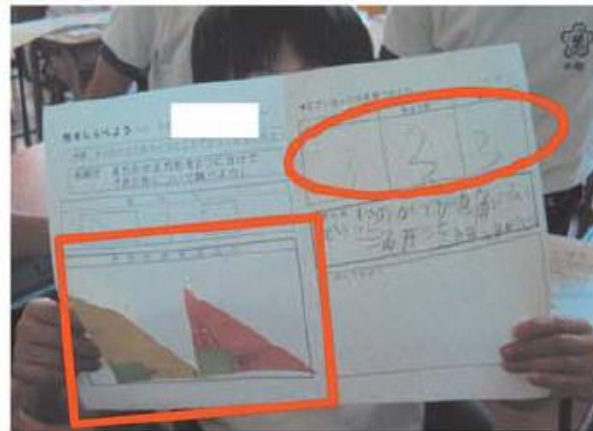
【活動の手順を示した例】



【声の大きさを視覚化した例】



【授業の流れを示した例】



【板書と学習プリントを連動させた例】

本日の内容

4 最後に



4 最後に

先生が行う子供達への前向きな働きかけを

発達支持的生徒指導と言います

いじめ・不登校未然防止

学校に行きたい
友達に会いたい
もっと学びたい



よいスパイラルへ

他者（教師、友達）の目を気にすることなく（馬鹿にされたり、責められたりしない）、安心して自分の考えをもち、発信できる状態

心理的安全性が高まる

子供の

自己指導能力が高まる

自分で目標を決め
（何をしたいのか、何をすべきか）、
その達成に向けて、自発的、
自律的、他者も尊重しながら
実行する力

【日常的な関わり】

□挨拶 □声掛け

□励まし □賞賛 □対話

□子供の考えを尊重する言動

□尊重し合うことを促す言動

□「使役」ではなく

「促し」を重視した言動

□子供の困り感に寄り添う言動

【授業づくり】

□自己選択・決定の場がある

□児童生徒の交流の充実

4 最後に

生徒指導を「させる」から「**支える**」へ
マインドチェンジを！

日々の教育活動の中に、発達支持的生徒指導を！
先生方が行う前向きな働きかけが
生徒一人一人の**健やかな成長**を支えます！

**安全・安心な風土の醸成により、
子供たちも先生も楽しい学校に**



第2部 特別支援教育に係る研修会

特別な支援が必要な児童生徒の可能性を 最大限に伸ばすための指導・支援の在り方



教育庁筑豊教育事務所
教育相談室 安陪 知